

# カーボンニュートラル対応 第12回

カーボンニュートラル(以下CN)については、2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、CNを目指すことを宣言したことを受け、当会では、CN専門委員会を立ち上げ、2021年8月27日より活動を開始した。会員の皆様からいただいたアンケートの結果に基づき、CNを正しく理解していただくための勉強会の開催、パンフレットの送付(その1~4)、そして車体NEWSでは2021秋号から取組みを紹介している。

第12回目は、継続して実施している勉強会の実施状況、環境委員会の取組み、CN専用ホームページ、2024年度CO2排出量調査について紹介する。

## 2024年度車体工業会の取組み

### 1. 委員会活動環境委員会WG活動による会員支援

#### ①環境委員会WG活動による会員支援

環境委員会では4つのWGを立ち上げ、会員のCN活動のサポートとなる情報を発信していきます。

項目	実施事項
事例WG	わかりやすいCN対応事例の展開 「儲かる・すぐできる・誰でもできる」事例を集め展開予定
分析・解析WG	CO2排出量の算出方法のサポート 集計結果の分析 (削減項目、削減量把握と会員への削減アイテム情報発信 等)
LCAWG	自工会LCA分科会との連携 LCA評価ツールの検討
支援WG	現地現物による工場訪問支援、意見交換

#### ②中央業務委員会

CNアンケート結果から、会員の皆様の困り事を収集し、解決に向けたサポートを実施します。

#### ③広報委員会

CN専用HP掲載データのアップデート  
わかりやすい・検索しやすいCNホームページに向けた改善

### 2. 部会・支部活動による会員支援

#### ①部会

各部会毎(特装・特種・トラック・バン)に、会員支援策を検討・実行例)

特装部会:部会内CN WGを立ち上げ、会員支援策を検討

特種部会・トラック部会:各社の取組みを部会で共有  
バン部会:業務委員会が中心となり、会員支援策を検討

#### ②支部

工場見学会を兼ねたCN勉強会の開催

## 2024年度CO2排出量調査へのご協力依頼

車体工業会では地球温暖化対策につき、2008年度から日本自動車工業会と一体となった取組みを推進し、経団連の「カーボンニュートラル(CN)行動計画」に基づくCO2排出量調査を実施しております。

2050年のCN達成に向け、脱炭素化の流れが本格化する中で、当会も2030年に向けたCO2排出量の目標値を掲げ、会員の皆様の排出量、省エネ量等の実態把握を行い、エネルギー削減に繋がる活動を進めて参ります。

以下項目の2023年度実績について、ご提出をお願いしておりますので、回答へのご協力をお願いいたします。

#### <調査項目>

- ① 2023年度実績 CO2調査
- ② 省エネ・CO2削減 改善事例

## CN専用ホームページ



CN専用ホームページトップページ

<https://www.jabia.or.jp/cn/>



迅速に、そして分かりやすくCNに向けた会員の皆様の活動状況や官公庁、他団体の有益な情報を共有し、諸活動にお役立ていただくために、「CN専用ホームページ」を開設し、2022年12月22日にリリース。

#### <新着情報>

カーボンニュートラルの基礎知識

①2023年度CO2排出量調査結果

<https://www.jabia.or.jp/cn/co2/#co201>



②官公庁情報

<https://www.jabia.or.jp/cn/public/>



・補助金

【設備導入支援情報(東京都)】

中小規模事業所向け廃熱有効利用  
設備導入支援事業のご案内(JEHC)

・基礎知識

J-クレジット制度

世界の脱炭素・カーボンニュートラル  
動向

経団連カーボンニュートラル行動計画

・電動化

自動車の“脱炭素化”のいま(前編・後編)

・グリーンエネルギー情報

2050年カーボンニュートラルを見据

えた次世代エネルギー需給構造検討

小委員会(総合資源エネルギー調査

会)

#### 車工会会員の皆様へ

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、

掲載要望やお気づきの点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせはこちら <https://www.jabia.or.jp/cn/contact/>

